

学園だより

発行 学校法人
 ノートルダム清心学園
 清心中学校
 清心女子高等学校
 倉敷市二子1200
 ☎701-0195
 TEL(086)462-1661
 FAX(086)463-0223
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報部

持続可能な未来のために

校長 Sr. 小谷 恭子

界との共存の道を見つける必要に迫られています。

この秋、岡山市で「ユネスコ世界大会」が開催され、本校の生徒たちは、世界33カ国の高校生と共に、持続可能な社会をつくるというテーマで話し合い、協力しあう機会があります。生徒たちは、議長団の一員として、司会者として、また、会の運営に携わるなど初めての国際会議に参加する貴重な経験をします。歴史も文化も異なる国の高校生と共通のテーマで話し合うことで描く未来の夢は、ここでできる新しい友人達と協力して実現してくれることを願っています。



中学生徒会長
堀内 菜央



私たち中学年でしこ生徒会は、2年生2名、1年生2名で十月より活動を始めました。皆さんに信頼され、様々な活動を通して、多くの人に笑顔をお届けすることができるような生徒会を作り上げていきたいと思っています。

清心中学校の皆さんがより楽しく笑顔で、充実した学校生活を送ることができるよう、生徒会一同何事にも精一杯励んでいきますので、ご協力よろしくお願い致します。



高校生徒会長
藤田 彩乃



文化祭恒例の階段アート

朝夕さわやかな秋風を感じる頃となりました。スポーツの秋、読書の秋と身近に感じていた季節が戻り、自然界も人間も元氣を取り戻した感があります。文化祭の折には、保護者の皆さまに一日中バザーで大変お世話になり、ありがとうございました。当日は、清々しい晴天に恵まれ、大変多くの来校者がありました。中学生の学習発表、高校生の展示、部活動の発表など生徒もがんばっていました。オーケストラ部の野外ステージ演奏は、初めての試みでしたが、多くの観客を楽しませてくれました。どこでも笑顔が見られ、気持ち



オーケストラ部の屋外コンサート

ちの良い一日を過ごすことができました。ありがとうございます。私たちは、この数年間、今までになく激しい豪雨、洪水、土砂災害などを経験するようになりました。今年は、広島県で経験したことのない集中豪雨が山崩れを引き起こし、痛ましい犠牲者を大勢出しました。自然環境についての知識が、日常生活の中では生かされていないという悲しい現実を直面しました。自然界が変わってきたと実感しつつも、真剣に考えることをしてこなかった私たちは、そこで生活し続けるために、しなければならないことを明確にし、日常生活の中で自然



芸術鑑賞

九月七日、天候にも恵まれ無事文化祭を終えることができました。私たち生徒は文化祭当日のため一生懸命準備をし、本番も来て下さったお客様に喜んで頂けるよう全力で文化祭に取り組みしました。私たち生徒会にとっては一番大きな行事が終わり、少しほっとしています。これからは、次期生徒会選挙と今までお世話になった高校三年生を送り出す送別会に向けて、一丸となって頑張りたいと思います。

北海道歴史文化コース

高2D 宇野 愛花

私たちは主にアイヌ民族について学びました。事前学習ではレポートを作成したり、新聞記事を読んで感想を書いたり、自分たちなりに沢山の調べ学習をして臨んだつもりでした。しかし、実際に白老ポトコタンでアイヌ民族の血を引く方々の講話を聞き、踊りや食事の体験をしてみると、自分たちが調べたことは長い、歴史の中のほんの一部にしかあたらないものだと痛感しました。この研修を通じて、どの民族においても「知る」ということが歴史や文化を跡に継承していく上で大切だと感じました。このことを今後のまなびに生かしていきたいと思っています。



トラスチヌ修道院

北海道自然環境コース

高2A 岩堀さつき



旭岳姿見の池にて

自然の偉大さと恵みを身近に感じた貴重な四日間でした。

有珠山では、最近噴火した御嶽山など活火山の恐怖を身を感じながら、一歩づつ登り続けました。この山も十四年前に噴火しており、現在も灰や岩石などによって、建物が破壊された当時の状態のまま残されていました。一方で、噴火したことで温泉などが湧き出て、自然の恩恵を受けて人々は暮らしてきた、ということが感じられました。

また、ウチダザリガニを捕獲し、生体を調べ記録しました。駆除するだけでなく、生き物の命の大切さ、自然を守り続ける大切さをこの研修全体を通して、改めて実感することができました。



研修

沖縄戦争平和コース

高2C 石田 有沙

私の沖縄のイメージとは美しい海に繁栄したリゾート地だったが、研修旅行でその考えは覆された。

私たちのコースは沖縄の表ではなく裏を見つめるものだった。沖縄戦争で実際に使われた壕に入り戦の大切さについて深く考えた。命の多さを実感し、胸が苦しくなった。また、米軍基地に関しては、辺野古で座り込みをしている方に直接話をうかがうことができた。

様々な経験を通して、本土と沖縄の温度差を強く感じ、沖縄の現状に無知だった自分が情けなくなつたが、同時に多くを学べたことに感謝できる研修であった。



沖縄から広がる平和の波

沖縄自然環境コース

高2E 岩井 楓



座間味島の海岸観察

私にとってこの研修旅行は、実は自分は理系が好きであることを改めて発見する旅になりました。サンゴやプランクトンの観察、海岸調査での多くの動植物とのふれ合い、海でカヤックを漕いだり泳いで海中の魚を見たりした活動全てをとっても楽しく感じたからです。

出発するまでは、その理学的な内容に対して自分についていけるのが正直不安でしたが、それらの活動はとても新鮮で、心から楽しいと思えるものでした。

今まで文系の進路も視野に入れていた自分ですが、新たな自分の一面を発見したので、この研修で得たものを活かして将来の進路をよく考えていきたいと思っています。



高1 蒜山研修

高1E 船越 史佳

私達は、鳥取大学フィールドサイエンスセンターで五日間の研修を行いました。一日目は、講師の先生に蒜山の自然について講義をしていただきました。二日目からは、野外実習が始まりました。木の枝打ちや、森林観察用のジャングルジムに登って森林の生態を観察しました。ブナの人工林で班ごとに樹木の測定をし、その結果から二酸化炭素の吸収量を求めました。合宿の前は、山に入っていくことに抵抗がありましたが、この研修でその気持ちはなくなりました。むしろ、楽しむことができました。また、班の活動を協力して行え、お互いを高め合えた研修になったと思います。



ツリークライミングの様子

オーストラリア研修

中3学年主任 松本 浩和

7月6日〜20日の15日間、オーストラリア研修を実施しました。午前中は6グループに分かれての英語レッスン、午後は、クラス単位で学校訪問や高齢者施設訪問などを行いました。また、世界遺産の多雨林での環境学習や動物園・植物園への見学など、現地ですりかたきない貴重な体験ができました。

1人1家庭という恵まれた環境でのホームステイは本当に大きな経験となりました。最初は不安そうなお表情だった生徒たちも、温かいホストファミリーの対応により、最終日には笑顔に変わっていったことがとても印象的でした。

このように充実した研修に参加させてくださった家族をはじめ、支えてくださった人々への感謝の気持ちをお忘れず、2週間得た経験を、これからの学校生活で生かしてくれることを願っています。



修了証書授与

SSH科学英語

英語科 岩井 久子



英語で主張する生徒と見学者

平成26年6月、本校にて第7回SSH科学英語研究会が開催されました。生命科学コースでは、ツールとしての英語運用能力の育成に重点をおいた研究開発に取り組んでいます。今回は高1NELPの生徒と高2生命科学コースの生徒による2つのタイプの英語ディベートを取り入れた授業に加え、高3生徒による課題研究内容のプレゼンテーションを行いました。

県内外からの多くの参加者の前で自分たちの意見を英語で論理的に伝えることができたと思います。今後も生徒たちが向上心をもち、英語によるコミュニケーション能力を身に付けていって欲しいと願っています。

体験を力に

教頭 森 雅子

十月二十四日、岡本光正先生と卒業生二名の講演をいただいた「SSH研究成果発表会」を、翌二十五日に今年度は京都大学百周年時計台記念館を会場に、阿形清和先生、松下祥子先生の講演と三三名の参加者を得て、「集まれ！理系女子 第六回女子生徒による科学研究発表交流会」を実施しました。本校SSH事業の大きな特色は「体験・研究活動が充実していること」「女子だけの集団での教育カリキュラムの開発であること」です。特に「集まれ！理系女子」は、全国的に新しい取組として注目され、2014年度科学技術振興機構の「SUPER SCIENCE HIGHSCHOOL」のパネルセッションにも紹介されました。

女子だけの集団での活動は、女子生徒の自信を深め、リーダー



集まれ理系女子研究発表交流会

シップを育てるために有効です。また「体験・研究」を真に「学力」へとつなげていくためには、周辺事項を調べ、論理的に組み立て、他の人へ「伝える」ことが大切になります。生徒の皆さん、SSHの活動に積極的に参加し、発表することで自分に与えられた力をさらに伸ばしていきましょう。

高校文化祭



高校生徒会副会長 井関やあめ

文化祭に参加した全員を笑顔にしたいという思いから、今年のテーマは「Smile」に決めました。高校生はそれぞれのクラスで協力し、展示やパフォーマンス、模擬店に取り組みました。日々、道具や装飾が出来上がっていく姿に努力や団結力を感じずにはいられません。また部活動では、初の試みとして管楽器部の演奏、オーケストラ部が中庭で爽やかな演奏を披露してくれたりしました。テーマの通り生徒や来客の方々の笑顔あふれる文化祭でした。



中学文化祭



前中学生徒会副会長 浅野菜乃佳

私たち中学までしこ生徒会は四月から校内文化祭と文化祭当日の企画を考えてきました。企画を考え始めた頃は、どんな内容にしたら皆さんに楽しんでいただけるだろうか、生徒会のメンバーで頭を悩ませることもたくさんありました。しかし、一人一人のアイデアを展開させていくことで納得のいく企画が完成しました。文化祭当日は皆さんが、生徒会企画説明の掲示を必死に見て参加して下さっていて、私たちはとてもやりがいを感じました。ありがとうございました。

平成26年度文化祭 後援会寄贈品・模擬店販売収支報告書			
種別	売上(円)	諸経費(円)	収益(円)
模擬店	1,057,732	751,467	1,197,535
寄贈品販売	891,270		
合計	1,949,002	751,467	1,197,535

※後援会の文化祭収益の使途は、平成27年1月に開催される「後援会後援委員会」にて協議・決定される予定です。(昨年度は、「校舎改修整備等助成資金及びクリスマス献金の一部」として寄付していただきました。)

※同窓会模擬店・バザーの収益は、マリア・ジュリー奨学金として500,000円寄付していただきました。

中1郷土学習報告

中1学年主任 隅田 由香

少し蒸し暑い日でした。が、お天気に恵まれ、予定通り閑谷学校での学習を実施することができました。



講堂学習の様子

講堂学習では論語の一節を大きな声で唱えました。漢文の響きは難しいところもありましたが、何度も唱えるうちに少しずつ意味がわかったように思えます。講師の先生からはいろいろな学習における音読の大切さについても教えていただきました。

午後からの備前焼体験は、楽しく行うことができました。先生は説明して下さりながら魔法のように作品を仕上げられました。いざ自分たちがやってみるととても大変でした。郷土の歴史を知るよい研修となりました。

中2林間学校

中2学年主任 Sr.森脇 尚美

少しずつ紅葉が始まった蒜山高原で、一泊二日の林間学校を行いました。

ました。一日目の飯ごう炊きさんは、雨天のために実施できませんでしたが、「蒜山語りの会」の方から、地元で伝わる昔話をお聞きすることができました。翌二日目は朝から好天に恵まれ、蒜山ガイドクラブの方々の案内で、象山登山と里山散策を行いました。自然災害の続く昨今ですが、高原のさわやかな空気を満喫しながら、改めて大自然の素晴らしい魅力を感じる事ができました。

こうした日常の学校生活とは違う体験や人々との出会いが、生徒たちをより大きく成長させてくれることを願っています。



象山登山の様子

中3広島平和学習

中3学年主任 松本 浩和

雨上がりの秋晴れとなった10月3日、広島へ平和学習に行きました。事前に宗教をはじめ多くの教科で学習を行うとともに、前日には被爆者の方から体験をお話いただきました。生徒はとても真



祈りのつどいの様子

剣に話を聞き、質問もたくさん出て意義ある講演となりました。

広島では、資料館の展示物をじっくりと見学していました。また平和公園内の碑巡りを班ごとに行いました。熱心に碑文に見入っていた様子が印象的でした。

年々被爆体験者が減少していく現状のなか、若い生徒たちが今回の講演や現地での体験を忘れず、原爆の悲惨さを語り継いでくれることを願っています。

校外活動実績

＜SSH関連＞

- ・第61回日本生態学会大会高校生ボスター賞 最優秀賞 『植物就眠運動自動記録システムの開発』
- 高3 F 中原可南子 佐々木さくら 芝吹 真美 武井 凜 山本 愛結
- 高3 A 平井 優里
- ・第61回日本生態学会大会高校生ボスター賞 審査員特別賞 『実験室内で卵から育てられたオオイトササンシヨウウオで配偶行動を誘発する』
- 高3 F 伊藤 頌子 田中 美世

＜運動関連＞

- ・H26年度全国高等学校総合体育大会 バレーボールの部 第3位
- ・第68回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会 第4位
- ・H26年度備中支部高等学校総合体育大会 テニス競技 第1位
- ・H26年度岡山県中学生弓道大会 女子団体の部 第3位
- ・女子個人の部 第3位
- ・第8回備南東地区中学校総合体育大会 水泳競技の部 女子総合 第3位
- ・第8回備南東地区中学校総合体育大会

＜英語関連＞

- ・平成25年度実用英語技能検定 努力賞
- ・第20回吉備国際大学英語スピーチコンテスト 加計賞 高1 C 津野瀬そら
- ・吉備国際大学賞 高2 C 新田 真子
- ・全国即興型英語コンテスト 2014 第3位 高2 C 篠原 夏美 高2 E 佐藤 莉沙
- ・ベストスピーカー賞 第2位 高2 E 佐藤 莉沙
- ・こくさいこどもフォーラム岡山主催論文コンテスト 高2 C 長谷川 舞 奨励賞

- ・第61回日本生態学会大会高校生ボスター賞 審査員特別賞 『森林の二酸化炭素の吸収能力の推定』
- 高2 E 大橋 慈子 吉岡ゆきの
- ・中国四国地区生物系三学会合同大会 最優秀プレゼンテーション賞 『アカハライモリのクロロン作成』
- 高2 E 木村佳奈子
- ・中国四国地区生物系三学会合同大会 最優秀プレゼンテーション賞 『赤外線センサによる就眠運動の自動解析』
- 高3 F 芝吹 真美 佐々木さくら 武井 凜 中原可南子 山本 愛結
- 高3 A 平井 優里
- ・中国四国地区生物系三学会合同大会 優秀プレゼンテーション賞 『受精卵から飼育したオオイトササンシヨウウオで、室内での産卵行動の観察に成功』
- 高3 F 伊藤 頌子 田中 美世
- ・中国四国地区生物系三学会合同大会 優秀プレゼンテーション賞 『木質バイオマスを使用してエタノール生産できる野生酵母を求めて』
- 高3 F 秋山 慧 大内田裕美 橋本 佳南
- ・平成26年度スーパーサイエンスハイスクール生徒発表会 『デンジソウはいつ眠る？』就眠運動の詳細解析』 独立行政法人 科学技術振興機構理事長賞
- 高3 F 佐々木さくら 芝吹 真美 高2 E 松井 千乃
- 水泳競技の部 女子1000m自由形 女子2000m自由形 第3位 中1 B 桑田陽予里 女子4000mフリーリレー 女子4000mメドレーリレー 第3位 中2 B 田中 愛美 中2 D 桑田陽予里 中1 C 笹岡英里子
- ・第2回全日本小中学生ダンスコンクール西日本大会 中学生部門 銀賞
- ＜文化関連＞
- ・岡山県高校生美術コンクール 金賞 高3 B 有松 聖華
- ・第38回全国高校囲碁選手権大会岡山県大会 個人戦第2位 高3 D 伊藤みのり 女子団体戦第1位 高3 D 伊藤みのり 高3 E 柳 茉友子 高2 C 江原 夢乃
- ・第160回記念県下小中学校硬筆習字展覧会 岡山県習字教育研究 金賞 中2 C 嶋田 朋夏 銀賞 中2 B 堤咲 里菜 銅賞 中3 A 松岡 里奈 中3 B 島田 晴華 中3 C 松尾 飛那 中1 C 中島 実優 中1 C 浅山 碧